

拉致問題は、北朝鮮だけではなく！

①知られざる、組織的拉致監禁の実態 —南京錠などで改造、脱出不可能・今現在も日本各地で拉致監禁・思想改造—

「拉致」といえば、私たち日本人は北朝鮮の悲劇を思い起こします。私たちは、この許されざる犯罪、人権侵害が形を変え、現在も自由と人権の保障された日本各地で実行されているという知られざる事実を、皆さまに、ぜひ、知って頂きたいのです！

世間から「カルト」と呼ばれている教団がいくつかあります。そして、そのカルト教団から信者を脱会させるための専門家（脱会カウンセラー）と呼ばれる人達がおります。彼ら（脱会カウンセラー）は、信者家族から脱会の依頼を受けると、ある方法を家族に教唆、指導します。その方法こそが、「**拉致・監禁**」なのであります。

標的になった信者は、時には自宅にて、またある時には路上を歩行中、突然、集団で襲われ、ワゴン車に暴力的に押し込められ、周到に準備されたマンションやホテルの監禁部屋に隔離されます。ひとたび監禁されると、泣こうが、わめこうが、騒ごうが、脱会させるまでは、脱出できない状況に追い込まれます。玄関ドアには内側からクサリがかけられ、南京錠で嚴重に施錠されます。また、窓には、内側から脱出できないよう、念入りに細工されます。そして、外部との連絡を一切遮断され、一方的で偏った情報のみを強制的に聞かされ、脱会を強要されるのです。無法地帯と化した密室での魔女狩りの私刑（リンチ）による言語を絶する苦しみから逃れるため、ある信者は液体洗剤を飲み干し、また、ある信者はマンションの上層階から飛び降り、中には、絶望のあまり自殺に追い込まれた人もいます。信じて頂けないかも知れませんが**過去40年間に4000件以上もの脱会のための拉致監禁事件が起きているのです。**

信教の自由が保障されているはずの民主国家日本において今現在も強制収容所と化した監禁部屋での思想改造が全国各地で秘かに実行されているのです！
（裏面へつづく）



▲医師の診断は、「全身筋力低下、廃用性筋萎縮（筋肉を使わないために筋肉組織が退化して小さくなった状態のこと）、栄養失調、貧血」。



▲特に下半身が衰え、介添えなしには立つのも困難な状態でした。食事制裁を受けていたため、解放時、182cmの身長に体重39kgでした。

監禁解放後3日目の写真(撮影:ルポライター米本和広氏)

12年監禁事件の首謀者（宮村・松永）、送検！

② 不当な人権侵害を許せない！

— これほどの事件がなぜ不起訴に！？ —

— 昨年（2008年）2月10日、午後8時ごろ、世界基督教統一神霊協会（統一教会）の男性信者が渋谷にある教会本部に助けを求め、保護されました。彼は、1995年9月11日から実に12年5か月間にわたって杉並区荻窪にあるマンションの一室に監禁されていたのです。以下は、その後藤徹さんの証言です。

『・・・私は不当な監禁に抗議し、命懸けの脱出を試みました。「助けてくれー！ 警察を呼べー！」のどが張り裂けるほど、連日、叫び続けました。しかし、多勢に無勢であります。私は声が洩れないようにと布団をかぶせられ、口を塞がれました。そのために、時には窒息しそうになりました。着ていた服は、ポロポロに裂け、顔や手から出血し、その血が畳にしたり落ちました。体中アザだらけになり、夜はその激痛のため寝ることができませんでした。

かづくでの脱出を断念した私は、抗議のハンストを決行しました。監禁実行者達は、私の態度に激怒し、監禁から解放しないばかりか、飢餓状態になった私に、まともな食事をさせない食事制裁を強要しました。私はリンゴの皮やキャベツの芯などの残飯や、水に浸してあった生米を見つからぬように食し、何とか餓死を免れました。

家族からの依頼を受け監禁部屋を訪れた私の担当脱会カウンセラーは、初め、新潟において、**新津福音キリスト教会牧師、松永堡智（やすとも）**であり、その後、荻窪においては、**荻窪在住の脱会請負人、（株）タップ社長の宮村峻**という人物でした。宮村氏は、荻窪フラワーホーム804号室の「監禁部屋」において私にこう言い放ちました。「もし自分の子どもが統一教会をやめなければ、オレは家に座敷牢を作って、死ぬまで閉じ込めておく！」

拉致・監禁から12年5ヶ月経過した2008年2月10日の夕刻、突然「ここから出て行け！」と着のみ着のまま、804号室の玄関から放り出されました。私は茫然自失となり、行くあてもなく路頭をさまよいました。そして、やむなく、渋谷

にある統一教会本部に助けを求めるために歩き出しました。しかし、途中でついに力つき、歩けなくなりました。夜も更け、わらをもつかむ思いで道行く人に声をかけ、助けを求めたところ、その人が偶然にも統一教会の信者でした。その人に助けられ、何とか統一教会本部にたどり着くことができました。しかし、もはや自力では立ち上がることもできず、その日の夜中、病院に緊急入院しました。**表の写真は入院3日目に撮影されたものです。』**

後藤さんは、監禁から解放後、監禁首謀者たちを「刑法第220条の監禁罪、第221条の逮捕監禁致傷罪、第223条の強要未遂罪に該当するもの」として刑事告訴、首謀者たちは、**東京地検に送検**されました。しかし・・・不当な人権侵害である拉致監禁の根絶を熱望する私たちの期待に反し、2009年12月、東京地検は、この事件を**嫌疑不十分で不起訴処分**といたしました。**この結果に対し、私たち、特に同様に拉致監禁により苦痛を受けた者達は、到底納得できません。**この結果を受け、先の松永堡智や宮村峻をはじめとする人々の監禁マンションでの脱会説得が助長されることを私たちは強く警戒します。後藤さんは、今後、検察審議会に不服申し立てをする予定です。私たちが良識ある皆様に願うことは、まず、マスコミでは決して報道されないこの事実を知って頂きたい、ということです。そしてこの**重大な人権侵害をなくすため、共に立ち上がって頂きたいのです！**御関心のある方は、ぜひとも一度、下のホームページをご覧ください。どうぞよろしくお願いいたします。

拉致監禁をなくす会 （当会は市民団体であり、特定の教団とは関係ありません。）

ホームページは以下（携帯でも閲覧可能。右のQRコードを活用ください）

URL : <http://rachi.info/> 連絡用メールアドレス : rachiinfo@gmail.com

会員募集中 : 当会は、賛同してくださる方の会への参加を募っております。

ホームページをご覧ください。

賛助金のお願い : 当会は、賛同してくださる方の賛助金を募っております。

みずほ銀行 赤羽支店 普通口座 2041097 拉致監禁をなくす会

参考ホームページ :

火の粉を払え（ルポライター米本和広ブログ）<http://yonemoto.blog63.fc2.com/>

夜桜館（よざくらあん）人知れず拉致監禁のPTSDと闘う夜桜のHP

<http://www5.plala.or.jp/hamahn-k/>

みさちのひとりごと 過去のトラウマとの闘い <http://ataul-g.hp.infoseek.co.jp/>

